

耐刃防護生地を使用した「セーフティーベスト」が 強盗放火犯人逮捕に貢献！！


去る、2月24日(火)大阪府門真市の幸福通り商店街で発生した「強盗放火未遂事件」の犯人を弊社長の揚野雅史と弊社員丸岡正治が取り押さえた。犯人は54歳の女性で、灯油とカッターナイフを持っていたが、弊社(有)サクセスプランニングで開発・商品化した鋭利な刃物でも切れにくい「セーフティーベスト」を着用していた為、凶器である刃物に臆することなく犯人を取り押さえることができた。

記

産経新聞(2009年3月7日)

■女取り押さえて男性2人に感謝状 門真市のアウトレットショップでレジの女性店員を脅し、金を奪おうとした女を取り押さえたとして、門真署(山口利廣署長)は、同市内のアパレル会社社長、揚野雅史さん(51)と同社員、丸岡正治さん(50)に感謝状を贈った。同署によると、2人は先月24日、同市幸福町のアウトレットショップ「くれすと」で、レジの女性店員(25)に持っていたペットボトルの液体をかけ、点火装置を出してレジの現金を脅し取ろうとした女(54)を発見。女は店外へ逃亡したが、2人で追いかけて、約50分離れた路上で女を取り押さえ、強盗未遂容疑の現行犯で門真署員に引き渡した。

2人のうち、揚野さんは元陸上自衛隊の隊員で現在も予備自衛官として活動。丸岡さんも日本拳法の有段者だった。また、同社ではナイフなどの刃物を通さない耐刃防護服の製造をしており、2人はこの日も着用していたという。



【大阪府門真警察署からの感謝状】



【感謝状の贈呈風景】



* 左手前が揚野雅史、奥が丸岡正治